競技上の注意

県サッカー協会審判委員会

1. 本大会は，2025/26（公財）日本サッカー協会競技規則により行う。

※　キャプテンオンリーに関しては実施しない。

1. 競技規則を遵守し，フェアープレー・リスペクトの精神のもとプレーする。
2. プレーに関する事実についての主審の決定は最終である。
3. 審判員を批判，誹謗，または中傷しないこと。
4. 時間厳守（特に後半開始）。ハーフタイムのインターバルについては，前半終了のホイッスルから後半開始のホイッスルの間を10分とする。また，ゲーム中の悪質な時間稼ぎをしない。
5. ユニフォームについて

①　ユニフォームは必ず正副２着（シャツ２枚・ショーツ２枚・ソックス２本）を，試合会場まで持参する。試合に使用するユニフォームの色を両チームで確認し決めておくこと。両チームで決めかねる場合は主審，または本部役員のトスによって決定する。準決勝より試合前ミーティングにより決定する。

②　アンダーシャツを着用する場合，その袖の主たる色はシャツの袖の主たる色と同じでなければならない。アンダーショーツおよびタイツは，ショーツの主たる色，またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合，同色のもの。試合中に競技者の着用違反が発見された場合，そのアンダーシャツまたはショーツを正すためフィールドから出るよう指示される。審判員による点検後にフィールドへの復帰が認められる。

③　ストッキング上にテープまたは同様な材質のものを外部に着用する場合，着用する部分のストッキングの色と同じでなければならない。ストッキングと異色のアンクルサポーターについては，内部に着用すること。

　※　選手の安全を守る観点から，ストッキングは伸ばして着用すること。

　④　ヘッドギアを着用する場合，黒またはシャツの主たる色と同じでなければならない（同一チームは同色）。

1. 選手交代について

　①　各自で準備したメンバー表を交代用紙として使用する。交代回数は，ＨＴや延長戦前と延長戦ＨＴは除く試合中３回。延長戦に入ると１回の交代回数が追加される。

②　アウトの選手に×，インの選手に○をつけて，本部席に提出する。

　③　交代選手は予備審（本部席）にメンバー表を提出し，必要なチェックを受け，主審の許可を得てアウトの選手がピ

ッチから出た後入場する。

　④　チームは試合の中で，脳震盪による追加の１名の交代要員を使うことができ，もう一方のチームは１名の追加の交代要員を得られる。脳震盪による交代は，必ず第４審と主審に確認をしてから行うこととする。

※両チームで脳震盪が出た場合最大７名，さらに延長戦に入った場合最大８名の交代が可能となる。

1. ベンチからのコーチ，テクニカルエリアの使用について

①　ベンチに入ることができるのは競技会規定に定められた人数（交代要員９名・スタッフ６名・登録外選手１０名：計２５名）で，試合開始前に氏名の届けられた者に限る。登録外選手１０名についても懲戒罰対象となる。

②　本大会ではテクニカルエリアを設ける。その都度１名の役員のみが選手への戦術的な指示を与えることができる。

③　退場を命ぜられた競技者は，フィールド及びフィールド周辺から離れなければならない。

④　監督及びその他エリアに入る者は，責任ある態度で行動しなければならない。

1. 負傷者の処置について

①　競技者が重傷を負っていると主審が判断した場合，２名以内のドクター等のチーム役員の入場を認める。主審はドクター等の意見も参考にし，必要あれば担架を要請する。担架は主審の合図を受けてからフィールドに入る。

②　ドクター等が入場した場合，フィールド内での治療は認められず，競技者はフィールド外に退出する。退出を拒んだ競技者は警告される。ドクター等がピッチ内に入る目的は，治療するためでなく，ゲーム続行可能か不可能かの判断をするためである。

③　【例外】ゴールキーパーが負傷したとき，ゴールキーパーはフィールド内で治療を受けられる。また，同じチームの競技者が衝突し即座の対応が必要なときは，フィールド内で治療を受けられる。治療終了後，フィールド外に退出する必要はない。フィールドプレーヤーであっても，重篤な重傷を負った場合，フィールド内で治療を受けられる。警告・退場となる反則により負傷した際，負傷の程度の判断と治療がすばやく完了し速やかに復帰できる場合。

10．競技者の用具（装身具）について

①　プレーに不必要なすべての装身具の着用は認められない。

②　装身具をテープで覆うことは認められない。

③　試合中に装身具着用が発見された場合，その装身具を外すためフィールドから出るよう指示される。競技者が拒んだ場合や再び身に付けていることが確認された場合は，警告される。審判員による点検後に復帰が認められる。

④　**キャプテンはアームバンド（キャプテンマーク）を着用しなければならない。単色かつ無地かキャプテン（C）の文字のみ認められる。規定内のメーカーのロゴも認められる。チーム名やスローガン等は認められない。**

11．アディショナルタイムの表示について

　①　今大会は１回戦より本部にて表示または伝達を行う（準々決勝より第４の審判員により行う）。

12．ＰＫ方式について

①　ＰＫ方式になった場合，選手はピッチ内から出ることは出来ない。自軍ベンチ前のピッチ内で１分間程度の休憩が与えられ，その時間に飲水及び監督の指示を受ける。

②　ゴールキーピングが得意なＦＰにＧＫを務めさせるなど戦術的理由でＧＫとＦＰが交代する場合，ＦＰは他の競技者や審判員と区別された色で，その競技者の番号が表示された服装を着用しＧＫとなる。例外として，ＧＫの負傷退場などにより緊急的にＦＰがＧＫに替わる場合については，他の競技者等と区別する色の服装であるならば，その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない（通常の試合時間内および延長戦も同様）。

13．アンダーシャツのスローガン等の表示について

　①　競技者はスローガンや広告のついているアンダーシャツを見せてはならない。基本的な用具には，政治的・宗教的

または個人的なメッセージを表示してはならない。競技者及びそのチームは，主催側より厳しく罰せられる。

14．ユニフォームについて（省略）